


# 鏡視下肩関節の手術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

2023/9/26

お名前		様		主治医		受持ち看護師	
日付	入院日	手術当日		術後1日目～	術後3日目以降	退院（術後17日目ごろ）	
		術前	術後				
活動	安静度	制限はありません	基本はベット上安静です。尿管がない場合は、状態が安定していれば、看護師と一緒にトイレに行くことができます	看護師が歩行状態を確認します			
	排泄		装具をつけます（術後3週間） 装具は自分で外さないでください				
	清潔	シャワー浴をし、爪きり、髭剃りを行ってください	尿管が入ります（入らない場合もあります）	尿管を抜きます		看護師の介助でシャワー浴をします（3回/週） （ペットボトルを使用します）	
食事	夕食以降は食べないでください	食事はとらないでください	手術終了4時間後より水分が許可されます				
	利き手の手術をする方は、反対の手で食事を練習をします	水分は指示された飲料のみをお飲みください	午前中に手術が終わった方は夕食から食事が始まります（粥食）	午後に手術が終わった方は、朝から食事が始まります			
	夕食以降、水分は指示された飲料のみをお飲みください						
検査							
処置			酸素マスクをつけます（手術終了4時間後まで）	傷の消毒を行います		傷の状態により、1週間程度で抜糸します	
			血栓予防のため足にマッサージの器械を付けます（歩けるようになるまで）	痛みが強い場合は坐薬を使用します			
注射		午後からの手術の方は、点滴を入れます	点滴が入っています（痛み止めが点滴から入ります） 化膿止めの点滴を行います（術後1日目まで）	食事がとれれば点滴を外します			
内服薬	お薬を確認しますので、入院時に薬とお薬手帳をご持参下さい	麻酔科医の指示でお薬を飲みます	内服薬を再開します				
	お薬の内容によっては、一時中断していただくことがあります		痛み止めの内服が始まります				
	麻酔科医の指示で薬が出ることがあります						
	飲んでお薬は全てお預かりします						
教育説明その他	看護師が入院生活に関する説明を行います	浴衣に着替えてください	医師から手術の経過説明があります	転倒に注意してください		装具着用のまま退院の場合は、着脱方法についてご説明します。介助が必要な場合は、ご家族を含めてご説明します	
	麻酔科医の診察があります	手術室に入る前に、排尿を済ませてください	手術した腕に装具をつけます	リハビリが始まります		装具が外れた後も、医師の指示があるまでは、自分で腕を動かさず運動はしないでください	
	手術に必要なもの バスタオル1枚（なるべく白色）	眼鏡、コンタクトレンズ、時計、指輪、入れ歯などを外して下さい 足に包帯を巻きます（手術翌日に外します）	痛みが強い場合は、我慢せずに看護師を呼んでください 指の動き、痺れ、感覚の鈍さがないか確認します	痛みが強い場合は、我慢せずに看護師を呼んでください		リハビリについては、医師の指示に従ってください。手術した腕で、重いものは持たないでください	
	尿管を入れる方は紙オムツ		むくみ予防のため、手の掌握運動（グーパー）を行ってください			車の運転は医師の許可が必要です	
	シャワー浴に使用するため、2ℓのペットボトルを用意して下さい		創部にアイスノンをあて冷やします。（術後1週間ほど） （交換時、歩行可能な方はスタッフステーションにお越しください）				
備考	10時と17時に検温があります			6時、10時、17時に検温があります	10時、17時に検温があります		

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。